

「祖父江ぎんなんパーク」とは

「祖父江ぎんなんパーク」は、「祖父江ぎんなん」のさらなるブランド力向上のために、代表4品種である久寿(久治)、藤九郎、栄神(栄信)、金兵衛の保全を行い、ぎんなんのトップブランド化を促すため、「ぎんなん、歴史、健康」などをテーマに多くの人々が訪れ、多彩な交流が楽しめる場として、令和3年6月に開園しました。



イチョウの起源

イチョウは、「生きた化石」と言われ、その起源は今から2億5千万年前の古生代にさかのぼり、恐竜の時代にかけて繁栄しました。発掘された化石の研究結果から、恐竜はぎんなんが大好物だったようです。氷河期になると恐竜とともに絶滅しかけましたが、中国の一角で生き残ったイチョウが、驚きの生命力で世界中に広がり、現在に至ったと言われています。

イチョウの普及

この地域には、冬に伊吹山から乾燥した冷たい風である「伊吹おろし」が吹きつけます。そのため、イチョウの燃えにくく、大木に育って風を遮る特徴を生かし、防火と防風を兼ねて、江戸時代から寺社仏閣や屋敷まわりに植えられてきました。

現在、この屋敷内で取れる実を出荷することから、祖父江のぎんなんは「屋敷ぎんなん」と呼ばれています。ぎんなんの栽培は、意外と新しく、100年ほど前からです。当時、収穫したぎんなんが高値で売れ、大粒種の穂木が広まり、集落全体に普及しました。

そぶえイチョウ黄葉まつり・祖父江ぎんなんマルシェ

祖父江町山崎地区では、11月下旬から12月初旬にかけて、「そぶえイチョウ黄葉まつり」が開催されます。期間中は、イチョウ黄葉散策、ステージイベント、特産品の販売などのほか、夜間にはライトアップも実施され、光に照らされたイチョウの木が幻想的な姿を楽しませてくれます。

また、ぎんなんなど地元特産品を販売する「祖父江ぎんなんマルシェ」が定期的開催されます。

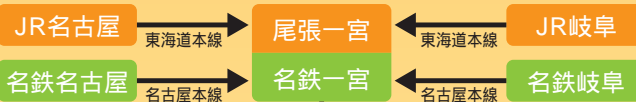
公園専用駐車場.....17台(山崎駅東隣)

利用時間...9:00 ~ 17:00

年末年始(12月29日~1月3日)は利用できません。

交通のご案内

電車で...



お車で...



国道155号線西島信号交差点を西へ1.5キロ
名神高速道路岐阜羽島ICから馬飼大橋経由で22分
東海北陸自動車道一宮稲沢北ICから15分



お問い合わせ先

詳しくはこちら



設置者...稲沢市(農務課)

〒492-8269 愛知県稲沢市稲府町1番地
[TEL]0587-32-1111 [FAX]0587-32-1240

管理者...祖父江町商工会

〒495-0002 愛知県稲沢市祖父江町山崎下枇486-1
[TEL]0587-97-5800 [FAX]0587-97-6324

そぶえ 祖父江 ぎんなんパーク



稲沢市
いなづま

Sobue Ginkgo Park

稲沢市祖父江町は、日本有数のぎんなんの産地。樹齢100年を越えるイチョウの大木が数多く存在します。晩秋になると、1万本を超えるイチョウが色づき、まち全体が黄金色に染まります。



[所在地] 愛知県稲沢市祖父江町山崎江代23番地2

